

青い樹



これからの青森県を担う子どもたちが、自分の命を大切に、他人に思いやりを持ち、たくましく、社会の一員として生きる“力”を育むためには、子どもたちが、自分に自信が持てるよう、地域の大人が経るみで、自分の子どものように手を差し伸べていく必要があります。

03 子どもたちを、“尊重する”ということ。



子どもたちは、親の期待にこたえようと、懸命にがんばります。しかし、期待にこたえられないと感じた時、親への反発がはじまります。子どもたちへの期待が大きいほど、反発も強くなります。

親の期待や価値観を押しつけたり、大人の感覚で一方的に子どもたちの気持ちや考えを否定せずに、尊重することで、子どもたちがのびのびとたくましく成長することができます。

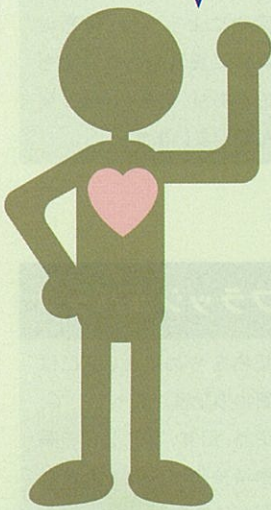
**強くなければ生きていけない。
優しくなければ生きていく資格がない。**

「プレイバック」 レイモンド・チャンドラー著より

子どもたちが自立して生きていくためには、どんなことにもくじけない強い心と他人を思いやる優しい心を育てていくことが必要です。

子どもたちの周りにはいる地域の大人、一人ひとりが、この3つのことを行うことが、子どもたちの強く優しい心を育む、大きな力となります。

まずは、顔をあわせてあいさつを交わすことから、はじめてみませんか？



ひとりひとりの力が 子どもたちの“生きる力”を育む 大きな力になります



青少年育成青森県民会議は、県民すべての願いである青少年の心身ともに健やかな成長を実現するため、国や県が行う施策に呼応して、市町村や青少年育成関係団体等のご支援とご協力を得ながら、以下の重点目標を掲げ、青少年育成県民運動を推進しています。

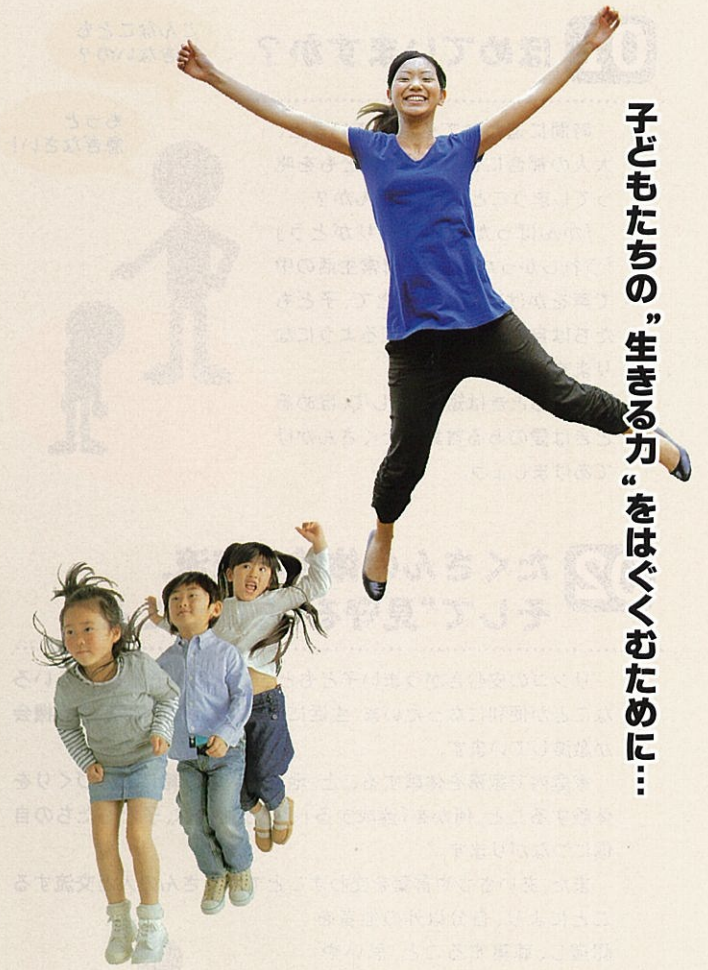
- 健全な家庭づくり運動を進めよう
- 人と人とのつながり、命を大切に作る心を育てよう
- 青少年の自立と社会参加活動を進めよう
- 青少年の非行防止とよい環境づくりを進めよう
- 青少年育成県民運動推進体制を整備しよう

会員を募集しています

青少年育成青森県民会議では、すべての県民による青少年育成運動の推進を目指しています。この運動は、地域のすべての大人が、青少年の育成に主体的に関わり、住み良い地域社会をみんなで作っていきこうというもので、運動の趣旨にご賛同・ご協力いただける会員を広く募集しています。加入の申込は随時受け付けておりますので、下記事務局までお問い合わせください。

| | |
|-------------|---|
| 会費 | 【正会員】 青少年育成活動を協働して推進していただける団体・個人 年会費 / 団体会員：6,000円 個人会員：3,000円 【特別会員】 県民会議の趣旨に賛同して支援していただける団体・個人など 年会費 / 団体・個人とも 10,000円 |
| 振込口座 | 青森銀行県庁支店：(普) 80533 ゆうちよ銀行：02320-3-10820 みちのく銀行青森支店：(普) 2407876 *口座名義はいずれも「青少年育成青森県民会議」 |

青少年育成青森県民会議事務局



子どもたちの“生きる力”をはぐくむために…

青少年育成青森県民会議

〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL.017-734-9224

青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課内

青森県庁ホームページ (http://www.pref.aomori.lg.jp/) 内で検索

青少年育成青森県民会議 [検索](#)

子どもたちの “生きる力”をはぐくむために…

01 ほめていますか？

時間に追われて生活していると、大人の都合に合わせて、子どもを叱ってしまうこと、ありませんか？

「がんばったね」「ありがとう」「うれしかったよ」と、日常生活の中で声をかけてあげることで、子どもたちは自分に自信が持てるようになります。

しかるときは短く、そして、ほめるときは愛のある言葉をたくさんかけてあげましょう。



02 たくさんの体験と交流、そして“見守る”ということ。

リングの皮むきがうまい子どもときちない子ども。いろいろなことが便利になったいま、生活に必要なことを“体験”する機会が激減しています。

家庭内で家事を体験すること、地域の人と一緒にものづくりを体験すること、何かを「達成する」という経験は、子どもたちの自信につながります。

また、あいさつや言葉を交わすことでたくさんの人と交流することにより、自分以外の他者を認識し、尊重すること、思いやりの心を育むことができます。

「やってあげる」より「やってみせて、体験させる」ことで、自己決定できる力を伸ばしていく…時間も手間もかかることですが、子どもたちにとってとても大切なことです。



子どもたちにつたえよう ～ケータイのこと、薬物のこと…知っていますか～

ケータイ・インターネット

- トラブル1** ブログ、プロフを通じて、名前や写真などの個人情報が誰かに利用される、かも。
- トラブル2** 掲示板、学校裏サイトで、自分への悪口やいやがらせが広がる、かも。
- トラブル3** 出会い系サイトで、恐ろしい事件に巻き込まれる、かも。

わが家のルールをつくらう

トラブルに巻き込まれないよう、親子でケータイやインターネットについて学び、話し合っ、家庭でのルールづくりをしましょう。

インターネットの有害情報から子どもを守るために フィルタリング機能をつけましょう

「フィルタリング」って？
インターネット上で公開されている情報について、ある条件と一致する情報を遮断することなどにより、パソコンなどの画面に表示させない機能です。

どうすればフィルタリングできるの？
市販のフィルタリングソフトやプロバイダによるフィルタリングサービスなどがあります。詳しくは各販売店やプロバイダへお問い合わせいただくか、財団法人インターネット協会のホームページをごらんください。

財団法人インターネット協会
<http://www.iajapan.org/rating/nihongo.html>

きちんとした情報を子どもたちにどう伝えていくか、大人がまずしっかり学ぶとともに、子どもと語り合う時間を持ちましょう。

薬物～薬物は、「ダメ。ゼッタイ。」～

「ダイエットに効く」「成績が上がる」…、錠剤型合成麻薬(「MDMA」など)・大麻に安易に手を出す事例が後を絶ちません。薬物は一度使っても「乱用」です。やめられずに依存症になってしまうこと、治療が極めて困難であること、心身のみならず人生まで崩壊させてしまうことを子どもに教え、絶対に手を出さないように指導し、また常に見守りましょう。

薬物を乱用するとどうなるの？

正常な脳の働きを変えてしまいます
乱用

| | |
|---|--|
| <p>やめられなくなります 依存</p> <p>精神的にも身体的にも薬物に頼る状態となり、やめられなくなります。</p> | <p>急性中毒</p> <p>薬物によっては、急激に身体に異常をもたらすものがあり、最悪の場合、死んでしまいます。</p> |
|---|--|

| | |
|--|--|
| <p>薬物精神病になります 慢性中毒</p> <p>幻覚や妄想にとらわれ、人格に異常をきたします。このため犯罪をおこすこともあります。また、肝臓や腎臓など全身の臓器が影響を受けます。</p> | <p>フラッシュバック</p> <p>薬物をやめても、脳には薬物の記憶が残っていて、突然、幻覚、妄想などの薬物精神病が再発することがあります。</p> |
|--|--|